

## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課



# 地質柱状図

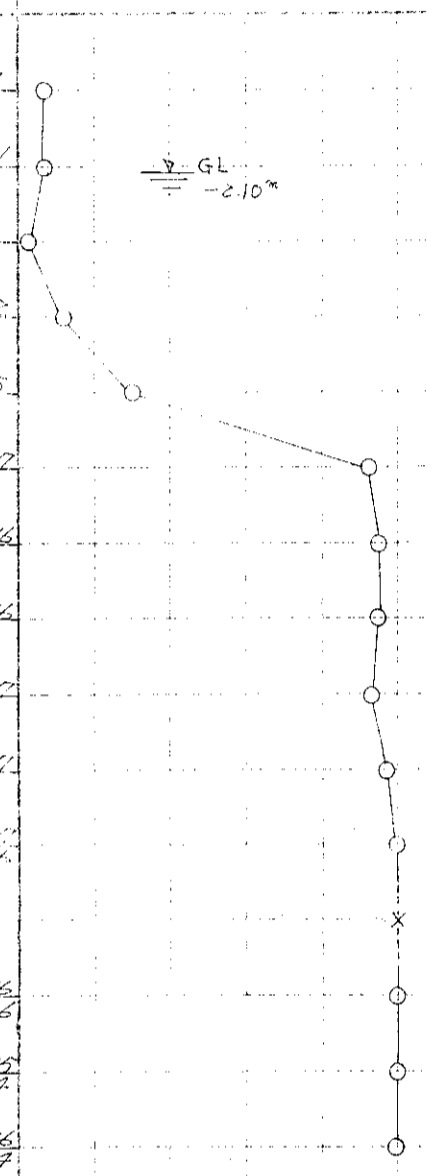
調査件名 枋入泉立巻羽高等学校敷地内地盤調査  
 調査場所  
 調査年月日 昭和57年 6月 7日

孔番 No. 2 標高 (海抜)  
 自然孔内水位 -2.10 (月 日測定)

1. 試料採取方法 (標準貫入試験による)  
 T-1 標準貫入試験による採取  
 T-2 サンプルサンフラーによる採取  
 S-3 サンプルサンフラーによる採取  
 2. 試料採取深度 (m)  
 1.00  
 4.50  
 1.50

標尺 m	標高 m	深 度 m	層 厚 m	柱状図記号	地質名	特 記 事	視 察	相 対 密 度	相 対 稠 度	標本資料 No.	試料		標準貫入試験					
											採取記号	採取深度 m	深 度 m	N 値 回/30cm	10cm毎の 打撃回数			N 値 回/30cm
												10	20	30	40	50		
0																		
1										①			1.00	3	1	1	1	
2		2.20	2.25		砂		細粒砂			②		2.20	3	1	1	1		
3		3.50	3.35		砂		中粒砂			③		3.50	1	1	1	1		
4		4.70	2.70		砂		粗粒砂			④		4.70	6	2	2	2		
5		5.70	1.30		砂		粗粒砂			⑤		5.70	15	5	5	5		
6					砂		粗粒砂			⑥		6.00	47	15	15	17		
7					砂		粗粒砂			⑦		7.00	48	16	16	16		
8					砂		粗粒砂			⑧		8.00	48	16	16	16		
9					砂		粗粒砂			⑨		9.00	47	15	15	17		
10					砂		粗粒砂			⑩		10.00	49	16	16	17		
11					砂		粗粒砂			⑪		11.00	50	17	16	17		
12					砂		粗粒砂			⑫		12.00						
13					砂		粗粒砂			⑬		13.00	50	16	18	16		
14					砂		粗粒砂			⑭		14.00	50	17	18	15		
15		15.24	0.64		砂		粗粒砂			⑮		15.00	50	17	17	16		
16					砂		粗粒砂			⑯		15.24	24			4		
17					砂		粗粒砂			⑰								
18					砂		粗粒砂			⑱								
19					砂		粗粒砂			⑲								
20					砂		粗粒砂			⑳								

GL  
 = -2.10m



# 地質探査圖

調査地所 栃木県立黒羽高等学校敷地内(世帯調査)

気象記号 3

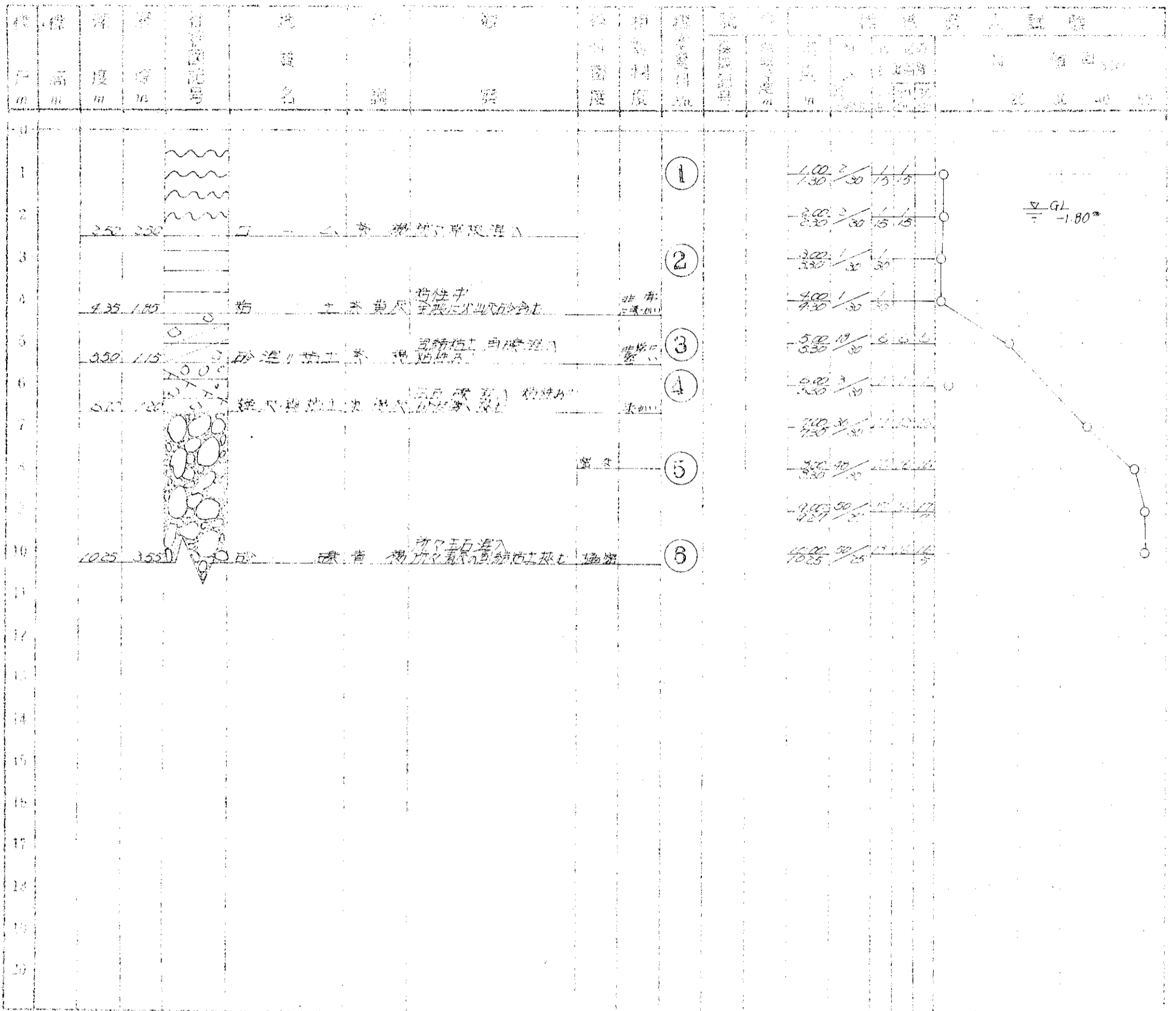
調査場所

標高(平均) - 1.80

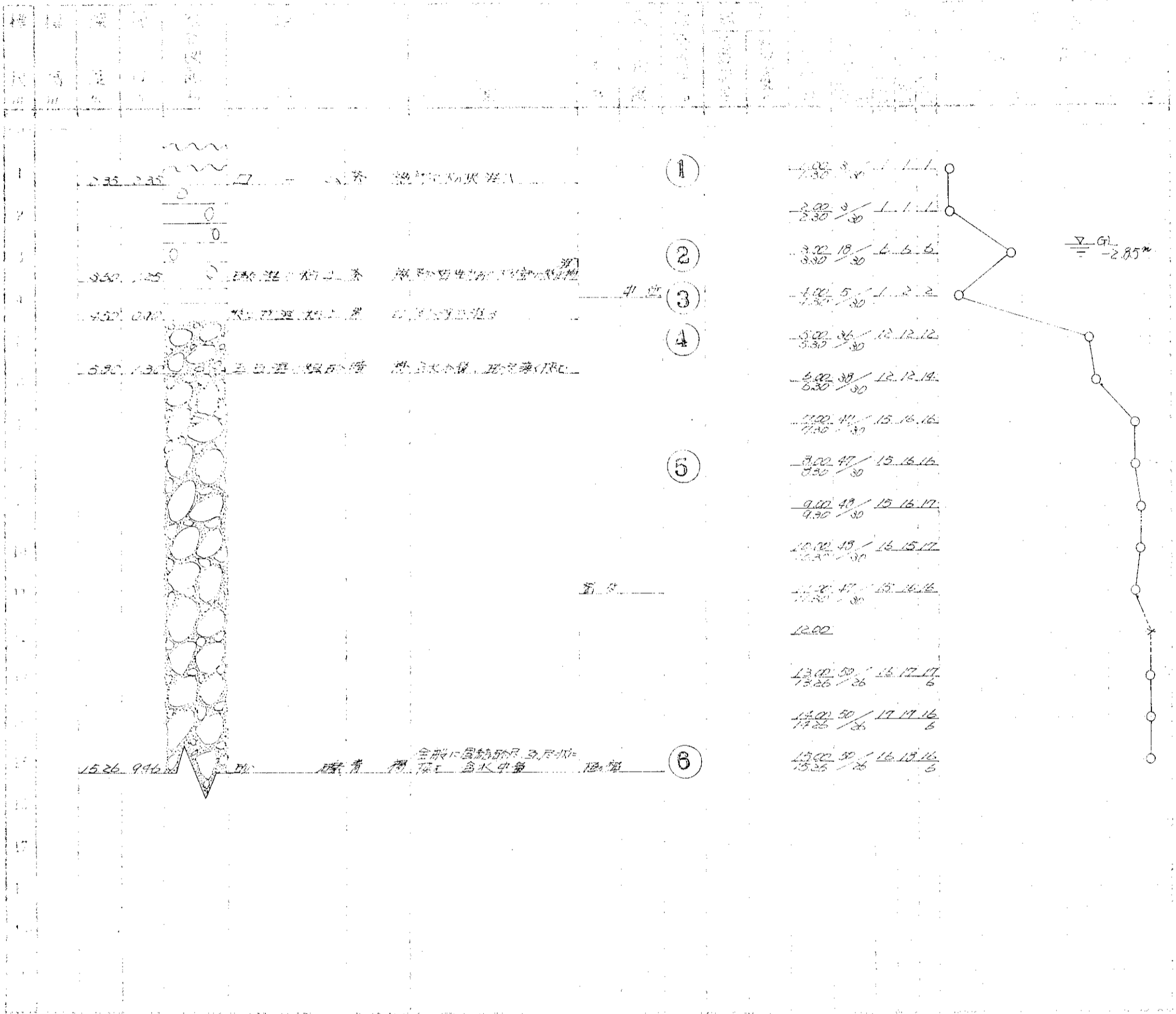
調査年月日 1952年 5月 8日

調査者

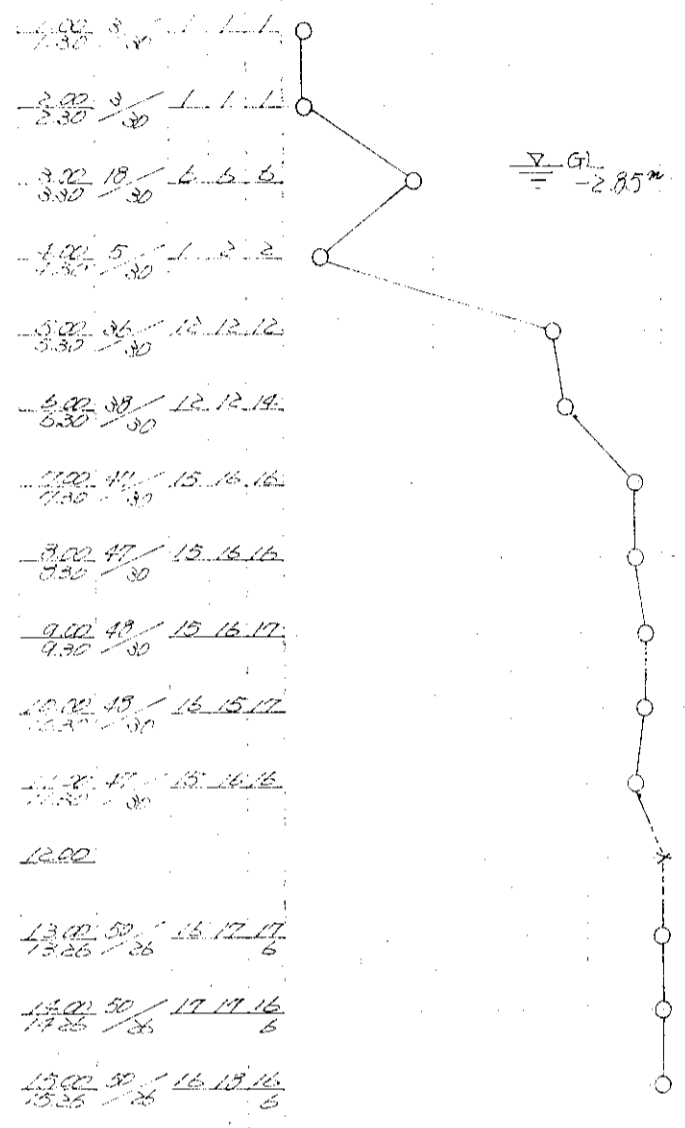
調査者 45120-1111



測點編號 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100



$$\frac{\sum G_i}{n} = -2.85m$$



15.26 946 廣東省 測量工程 局 測量 局

